

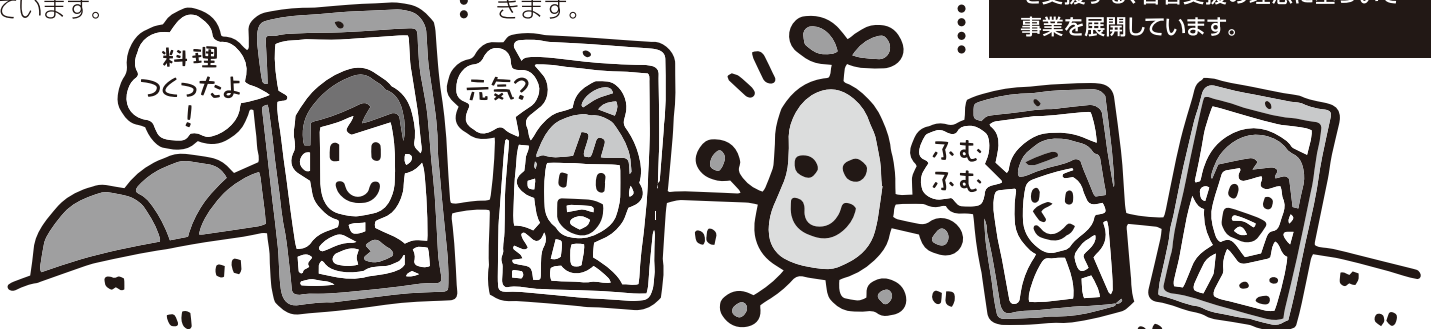
新型コロナウイルス 対策の取り組み

今年は暖冬の影響もあり、いつもより少し早めだった桜の開花、そして今は街路樹のハナミズキが満開に咲き競っています。変わらぬ自然の営みがある一方で、私たちは見通しの持てない日々を過ごさざるを得ない状況にあります。新型コロナウイルスの感染が日本中・世界中へ広がり、日常が壊されていくような…そんな思いにさせられているのではないのでしょうか。

「人と繋がる」ことを大切に、そのための「居場所」を創ってきたビーンズふくしまにとっても、今回の状況は、大きな試練だと感じています。しかし、この状況下で、どうしたら繋がりを継続していけるのか、「新たな取り組みへの機会」とも思っています。

この間、しばらくは、消毒の徹底・マスクの着用・3密を避ける工夫をしながら、事業を進めてまいりました。しかし、4月16日に緊急事態宣言が全国に出されたことで、新型コロナウイルスの感染をこれ以上広げないためにも、来所の利用を止めることを決断せざるを得ませんでした。また、接触機会を減らすために、職員のリモートワークも実施しております。

対人支援が中心のビーンズふくしまにとって、リモートワークはチャレンジの連続です。今後はコロナと共存する生活も想定されています。来所や直接接することなく支援できる方法を各事業で考え、子どもたち若者たち、そして、ご家族が孤立しない体制を創ることに取り組んでいきます。

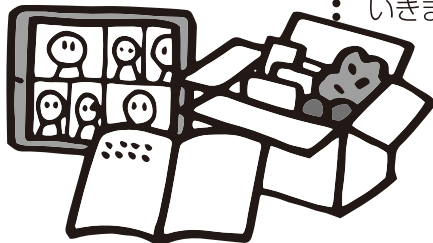


この間取り組んできたことと、新たな取り組みに向けて。

子どもの学習支援事業・アウトリーチ事業

電話やメール、教材の郵送、オンラインを利用した学習支援を実施しています。そうした中で、子どもたち・ご家庭の状況を把握し、適切な支援提供に繋げる必要があると考えています。オンラインによる学習支援は、子どもたちの方が慣れていてスムーズに開始することができました。また、遠方の方への支援は、移動時間が不要のため、今まで以上に学習時間が確保できるようになったという利点もありました。しかし、オンラインによる学習支援は、環境整備ができるご家庭ばかりではないため、子どもたちの学習機会の公平性を担保することが課題です。

また、生活支援では必要な家庭に対し食料・物資の提供を継続して行なっております。

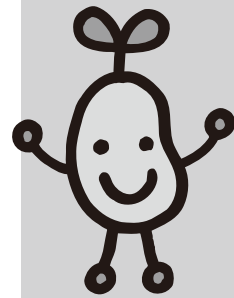


フリースクールビーンズふくしま

4月18日までは開所し、1日10人近くの子どもの利用がりましたが、4月21日からは休所しています。5月7日からは、オンラインで子どもたちが会える環境を整え、週2回、限られた利用時間とはなりますが、友達と会える機会として利用してもらい、子どもたちと一緒に何をしていくかを決めていくという、フリースクールのスタンスを大事にしています。また、個別で相談したい場合は、ご家族も含めて電話で受け付けていきます。



ビーンズ 通信 vol.99



●発行日 / 2020年5月10日

●発行元

特定非営利活動法人

ビーンズふくしま

〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F

TEL&FAX 024-563-6255

URL <http://www.beans-fukushima.or.jp/>

E-mail info@beans-fukushima.or.jp

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

子育て支援センターみんなの家@ふくしま

子育て支援センターみんなの家@ふくしまは、市からの要請もあり、3月上旬から休館となっています。そうした中で、電話相談対応(10:00~15:00)により、自宅にこもりがちなお母さんたちの不安な気持ちを伺い、孤立感を感じないようにホームページやブログによる情報提供をしています。

頑張っているお母さん、無理が溜まらないうちに
お電話ください。

☎024-572-4690



放課後児童クラブ みんなの家

今年度から、ビーンズふくしまの新規事業として、福島市北沢又地域で「放課後児童クラブみんなの家」の活動を開始しました。

学校の休校に伴い、子どもたちの育ちを支えるため、ご家族の生活を支えるため、感染対策を十分配慮した上で、唯一継続して開所しています。子どもたち自身も不安を抱えながらも、元幼稚園の広い敷地と建物の中で、のびのびと活動しています。詳しい様子は改めてお伝えしたいと思います。



おうちで遊ぼう♪ ワンポイントアドバイス

ふくしま 子ども支援 センターより

新聞紙を使って遊ぼう!! 新聞紙はいくらでもアレンジがすぐれた教材です。丸めたり、折ったり、ちぎったり...! 投げてもいいし、上から降らせることもできます。そして、新聞紙に何か一つを足

してみると遊びがもっと広がります。

- スーパーの袋に先ほど丸めた新聞紙をいれてボールにする。
- 子供用の傘をさして(この日だけは室内OKとしましょう)ちぎった新聞紙を雨に見立てて降らせる。
- 紙皿にちぎった新聞紙をのせて「焼きそばどうぞ♪」とお店屋さんごっこをする。
- 丸めた新聞紙をオレンジ色の折り紙で包んでミカン、赤色の折り紙で包むとりんど? トマト? 想像をふくらませて一緒に遊んでみましょう。最後はビニール袋にまとめて入れて、一緒にお片付けをしましょう!



一緒に遊ぶことで、お子さんの心が満たされて、気持ちの安定につながると思います。とはいえ、子どもたちと24時間ずっと一緒に過ごすことは、大変な部分があることも事実です。保護者の皆さまも、誰かと話して愚痴を聞いてもらう時間を取ってください。大人も大変なこの状況です。いつでも、ビーンズふくしまにご連絡くださいね。

みんなの家 @ふくしまより

利用者の方々に、どのようにおうち時間を過ごしているかお聞きしました。

ぜひ、お家でお試してください。

●小麦粉粘土・スライムづくり

100均で準備できます! レジャーシートをまず用意してください。そして、小麦粘土や、片栗粉と水を足して、そこに食紅を加えましょう。簡単にスライムが出来上がります。

●絵描きしりとり

絵をかいていくしりとり(小学生向け)

●おうちで回転寿司

プラレールの電車に平皿を乗せて、ママやパパが握ったお寿司を電車に運んでもらう

●お庭でピクニック

一緒に作ったおにぎりやおやつを、ベランダやお庭で食べて、ハイキング気分を味わえます。さらに、可能であれば、オンラインでお友達とお話ししながら出来ると楽しさアップかもしれません。